2007.6

## INFORMATION

# 是台あり、歌あり、張春岡町内の芝居絵二十三 土佐ほかまる南市商工をお開町本町 て参り

赤岡保健力 鮮やかに屛風絵が各所蔵者の家のなりました。年に一点

A

(通常)の解説

を田

行恵

香南市商工会に 蘆屋道満大内鑑 七一三〇六〇 「葛の葉子別

#### 期间中 のお知らせ 催し

穴 特 19 時 15 半

春野町芳原 21

18 時

20

(通常入館料のにて展示しませた絵金蔵土間はの絵金の白描で みずホ画氏 一数所

描

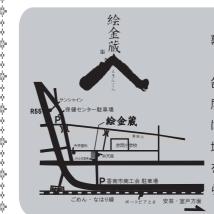
+入館締切) (1)

香南市商

同工会・赤岡保健し平町商店街

[絵金蔵]

開館時間 午前9時~午後5時 (入館は午後4時半まで) 大人500円、高校生300円 小・中学生150円 (15名以上の団体は各50円引き) 毎週月曜日 (月曜が祝日の場合は火曜) 12月29日~1月3日



幕末土佐の芝居絵師・金蔵 (通称・絵金)。彼は土佐 各地の祭礼に多くの芝居絵 られた施設です。

21

15

絵金蔵の三つの使命



# 絵金蔵がで・き・る・まで☆

part I 「旭湯お喜楽演芸場」編

平成17年2月11日にオープンした絵金蔵はまだ2歳と4ヶ月。 ここに至るまでには話せば長い道のりがありました・・・・。 まちづくりをめぐって、さまざまなディスカッションを重ねてきた 地域の人々のユニークな試みをご紹介します。

#### 第5回 旭湯お喜楽演芸場「はな笛」 平成13年4月

赤岡に残る古い建物を活用して何か楽しいことをしようとはいまった「旭湯お喜楽演芸場」の会場は赤岡町江見町にあった旭湯のほかにも落語や影絵芝居、幻燈会など、数々の一風変わった、楽しい催しが行われましたの



旭湯に集まる人々。 現在はその一部が絵金蔵向いの弁天座 に移築され、レトロな空気をそのままに伝えています。

★赤岡の町づくりに関する本 『犬も歩けば赤岡町』赤岡町まちのホメ残し隊 2001年11月 『おもろい町人』太郎次郎社エディタス 2006年4月



ニャンとかった

旭湯の番台に座り、籠を編むホロホロ・ネルソンさん。 大人も子供も、みんないきいきしてます…



演奏するホロホロ・ネルソンさん。「はな笛」ってもしかして…。 そう、なぜか鼻で笛を吹いています。 浴槽の中の方が音が良いそう。

# shop information

蔵オリジナルグッズ、続々登場。





### 絵金蔵シール

絵金蔵のポスターをそのまま超ミニサイイでしたシール。 お客とさまからの要望でいる客としたしたした。 お客にしたした。 が乗ってます…

3シート入り 300円



#### 絵はがき

絵金のでは、 を悪いいしいことでは、 をいいしいことができませる。 をいいしいでは、 をいいしいでは、 をいいでは、 をいいでは、 をいいでは、 ものでは、 はいいでは、 はいでは、 はいでは

1枚 80円



#### 一筆箋

24枚入り 400円



第六話 恋する狐

しゃどうまんおおうちかがみ やすなうち

蘆屋道満大内鑑 保名内 葛の葉子別れ

#### 〈 概 要 〉

享保19年(1734)10月、大阪・竹本座で初演された人形浄瑠璃。作者はたけた山雲。翌年には京都・中村座で歌舞伎狂言として演じられ、以後、葛の葉子別れの場面を中心とする人気狂言となりました。

本作の舞台は10世紀、朱雀天皇の御代に起こった朝臣の勢力争いと陰陽道の相続争いが絡み合い、それに巻き込まれる安倍保名と蘆屋道満との対立が軸になっています。さらにここに保名に助けられた白狐が許嫁・葛の葉姫の姿を借りて現れ、契りを交わした二人の間に生まれた子がのちに陰陽師・安倍晴明となるという晴明の出生譚が絡められ、人間の欲と愛、狐の一途な恋と悲しい別れの物語が展開していきます。

蘆屋道満は説話や伝説の世界では陰陽師・安倍晴明のライバル的存在で、晴明が国家と結びついた陰陽師の代表であるとするなら、道満は民間の陰陽師のシンボルであるといえます。古くは中世の説話集『宇治拾遺物語』(巻第14・第10話)や『十訓抄』(巻第7・第21話)などに二人のエピソードがみえ、近世には仮名草子『安倍晴明物語』(寛文12年=1662)を経て、古浄瑠璃\*『しのだづま』で演劇の舞台に登場します。様々に変化しながらもこの物語は庶民に愛され、説教節\*の世界では五説教のひとつ「信太妻」として瞽女\*たちによって近代に入ってからも語り継がれてきました。

本作はこれらを集大成し、竹田出雲独自の潤色を加えて一大スペクタクル に仕上げたもので、本作の上演後、葛の葉の物語は庶民の文化のなかにいっ そう広く深く根付いていくこととなります。

総金はこの物語のハイライト、今まさに信太の森に消え去ろうとする葛の 葉狐と母を慕う童子を情感たっぷりに描いています。今回は、高知県の赤岡 と土佐山田に伝来する2作品と、あわせて千葉県、大阪府に伝えられる4作 品をご紹介いたします。

\*古浄瑠璃 竹本義太夫が近松門左衛門と提携して義太夫節を完成する 以前の浄瑠璃各派の総称。京都の角太夫節、大坂の文弥節 江戸の金平節など。

\*説教節 中世末から近世にかけて行われた語り物。仏教説話から発し、和讃・講式・平曲などの影響を受け、大道芸、門付芸として発達した。

\*瞽女 盲目の女芸人。三味線を携えて村々を訪ね、祭文や口説き と呼ばれる語り物や歌謡を行った。長編の段物には説教節 と共通するものが多い。



## ~描かれた葛の葉の世界~ \*\*\*





#### 一 安倍保名 —





豊国三代 (国貞)

豊国三代(国貞)「芦屋道満大内鑑」江戸末期 信太の森の鏡池史跡公園信太の森ふるさと館所蔵 和泉市教育委員会提供

#### — 葛の葉姫 —





国貞三代「芦屋道満大内鑑」明治23年(1890) 信太の森の鏡池史跡公園信太の森ふるさと館所蔵 和泉市教育委員会提供





月岡芳年「葛の葉狐」明治24年(1891) 信太の森の鏡池史跡公園信太の森ふるさと館所蔵

千葉県野田市の琴平宮に奉納された押絵行灯のひとつ。 装飾用の羽子板のように綿を詰めて膨らませた布を材料に 役者の姿を描いた押し絵と、絹絵の行灯を組み合わせたも の。東京・日本橋の押絵職人、勝文斎 (1835-1908) によっ て作られました。障子には葛の葉の正体が…。

> 勝文斎「押絵行灯のうち大阪府・葛の葉」 明治17年(1884) 35.8×50.4 桐板押絵:絹本墨画 野田市郷土博物館所蔵



赤岡町本町一区は本作を含む6枚の屛風絵を所蔵し ています。その所蔵者のなかの一軒、武市さんご夫妻 からお話を伺いました。

武市さんが子供の頃、街灯もない時代に蝋燭のあか りで見た屏風絵は今よりもっと色鮮やかで迫力があり、 「しょう(すごく)、怖かったことを覚えちゅう」そうです。

絵金蔵の収蔵庫に寄託するまでは10世帯程の家庭 でさまざまな苦労を重ねながら絵を守ってこられました。 湿気を防ぐためなるべく高い場所に保管したり、虫損を 防ぐ工夫、さらに修復にかかる費用の捻出などもこつこ つと積み重ね、これまで武市徹さんの代で二度修理が 行われています。

現在、武市家には屏風絵を保管するための大きな箱 が伝存し、蓋裏一面に墨書銘がみえます。記された年



は明らかではありませんが が、これは屏風絵修復に 際し寄付を集め名前を記 した芳名録で、武市さんの 祖父にあたる武市藤次さ んはじめ、現在も本町一 区に住む方々の姓が散 見されます。現在確認さ れる中では絵金の生きた 時代に最も近い修復記 録として、貴重な史料とい えます。

芝居絵屏風箱 墨書銘(部分) 冒頭に「八幡宮唐紙画修/及唐紙之家筈(カ)/寄附者芳名」



二曲一隻屏風/紙本着色/146.0×130.6cm 個人蔵 香美市立美術館寄託

同図 に見える 太の



の人々によって熊野の人々によ記された信太ののふるさと、現在ののふるさと、現在ののふるさと、現在ののいるさと、現在ののいるさと、現在ののいまが、 多詣に利用され を結ぶ熊野街道 大阪府和泉市に 大阪府和泉市に が、多く

い森

# ~葛の葉子別れ~

もともと、香美市土佐山田の八王子宮の夏祭り の際、掲げられた絵。赤岡の作品と基本的な構図 は同じですが、色調や筆致はやわらかく、また、 鴨居に狐を配したり、信太の森に去りゆく葛の葉 とそれを見送る父子を描く点などに違いがみられ

八王子宮の祭礼では、幅11m、高さ5mの大 きな神社の拝殿風の絵馬台に、本作を含む5枚の 芝居絵屏風がはめ込まれました (現在この絵馬台は 出されておりません)。この絵馬台は破風を支える 柱に手長足長の姿を彫った本県でも例をみないユ ニークなもので、地元の宮大工、原卯平によって 作られたことが知られています。

〈参考資料〉 鍵岡正謹・吉村淑甫『絵金と幕末土佐歴史散歩』 新潮社 1999年5月



■ 葛の葉狐のふるさと 背景に描かれるのは、鳥居 の立つ信太の森。大阪府和 泉市には葛の葉にまつわる 様々な伝承を伝える葛の葉 神社、聖神社(信太明神) などがあります。

### なごり惜しや、 ■ いとおしや。

乳を含ませ、名残を惜しんで いた葛の葉狐は、抱いた子を はたと捨てて消え失せます。 消えかかるその足元にはシッ ポが…。竹田出雲による浄瑠 璃本には葛の葉がシッポを出 す場面は描かれておらず、こ の姿からは乱菊に見とれて尾 を出したと語る古浄瑠璃「し のだづま」のストーリーが思 い出されます。絵金はおそら く当時庶民の間で親しみの深 かった説教節や瞽女唄などか らも題材を得ていたものと考 えられます。菊を配した着物 にもご注目を…。

> ■ 突然の別れに… ′ 「いやいやいや、此かゝ様はそ でない…かゝ様どこへいかしや った。」 \*2 狐の母を慕って泣 き叫ぶ幼い晴明。



### ■ 我が子として

許婚が狐と契り、子まで成していたというショッキングな事実にも関わらず、葛の葉姫は気丈に振舞い、この子は自らの子として育てると誓います。

母を追う子を必死に抱きとめる 保名。「狐を妻に持ッたりと 笑ふ人はわらひもせよ。我レは ちつともはづかしがらず…はな ちはやらじャア葛の葉。童子が 母よ女房よ。」\*2

■ はなちはやらじャア

あら情けなや葛の葉は 夫に別れ子に別れ もとの信太へ帰らんと 心の内には思えども いや待て暫し我が心 今生の名残に今一度 童子に乳房を含ませて これより信太へ帰らんと 保名の寝付きを伺うて 差し足抜き足忍び足……(長周瞽女の「葛の蚤子別れ」)

[参考文献]

『赤岡町史』赤岡町教育委員会 1980年7月 『歌舞伎事典』平凡社 1993年4月 『新日本古典文学大系93 竹田出雲・並木宗輔浄瑠璃集』岩波書店 1991年3月 『絵金展 土佐の芝居絵と絵師金蔵』高知県立美術館 1996年 『朝日美術館 テーマ編3 幕末・明治初期の絵画』朝日新聞社 1997年1月 『しのだ妻の世界』和泉市立人権文化センター 2004年 豊嶋泰国「永遠のライバル・蘆屋道満」『国文学』67巻6号 2002年6月

信太伝承研究会・歴史民俗学研究会「安倍晴明生誕伝承の背景―(しのだづま)と泉州

信太陰陽師」『歴史民俗学』20号 2006年

6月の蔵の穴で本物を公開中!



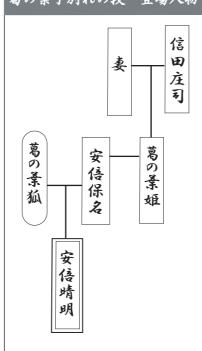
### ■形見の歌

葛の葉狐が別れ際に障子に書き残した形見の歌した形見の歌した形見の歌しなる信太の森の文書を表してるの葉」はいる高麗に書かれて居ので流麗に書かれて居口でで表すが、高いなど、本ある気を増えている。といるのは数々ののののののののののののでである。といるのでである。といるのではなど、ないのののののでは、ないでは、ないのののでは、ないののでは、ないののでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは

#### ■ あそこにも葛の葉 ここにも葛の葉!?

保名の家で機を織る葛の葉 狐を覗き見た信田庄司と葛の葉姫は、化身した狐のあまりに肝を つぶし、本人までが「という。」\*2とちらをどふといふ。」\*2と 対なされて下され。」\*2と 前本をし、顛末をじっと見守る 姿に描かれています。

### 葛の葉子別れの段 登場人物





あしやどうまんおおうちかがみ

## 蘆屋道満大内鑑 保名内

### 葛の葉子別れ

二曲一隻屏風/紙本著色/182.0×169.0cm 赤岡町本町一区所蔵

天文博士・加茂保急事で、安倍保名は師が残した秘書『金島玉恵集』を盗んだとする。 その場にいた保憲の養女で保名の前は保名をかばい、自ら喉に狂乱した保名は榊の前は保名をかばの許婚の死に狂乱した保名は榊の前と瓜二つの妹、葛の葉に横の前と仏二つの妹、葛の葉に横の前と仏二十つの妹、葛の葉に横った保名は榊の前と瓜二つの妹、葛の葉に横った保名は神の前と瓜二つの妹、葛の葉に横った。 る石川悪右衛門に襲われ、はなればなれとなる。

この時、保名が信太の森(現在の大阪府和泉市)で助けた白狐が葛の葉に化身して現れ、何も知らない保名と夫婦となり、安倍野の里で一子(のちの安倍晴明)をもうける。しかし、数年の後本当の葛の葉姫とその父信田庄司が訪れ、正体が知れた葛の葉狐は障子に「恋しくば、尋ね来てみよ…」と形見の歌を書き残し、幼子を置いて信太の森へ帰ってゆく。

この後、葛の葉狐を慕い泣く子と共に、 保名と葛の葉姫が信太の森へと訪ねゆく、 道行の場面となる\*2。

- \*1 ケレン (外連)
  - 歌舞伎の演出法の一つ。奇抜さを狙った見世物的 な仕掛けや演技のこと。
- \*2 『新日本古典文学大系93 竹田出雲·並木宗輔 浄瑠璃集』岩波書店 1991年3月